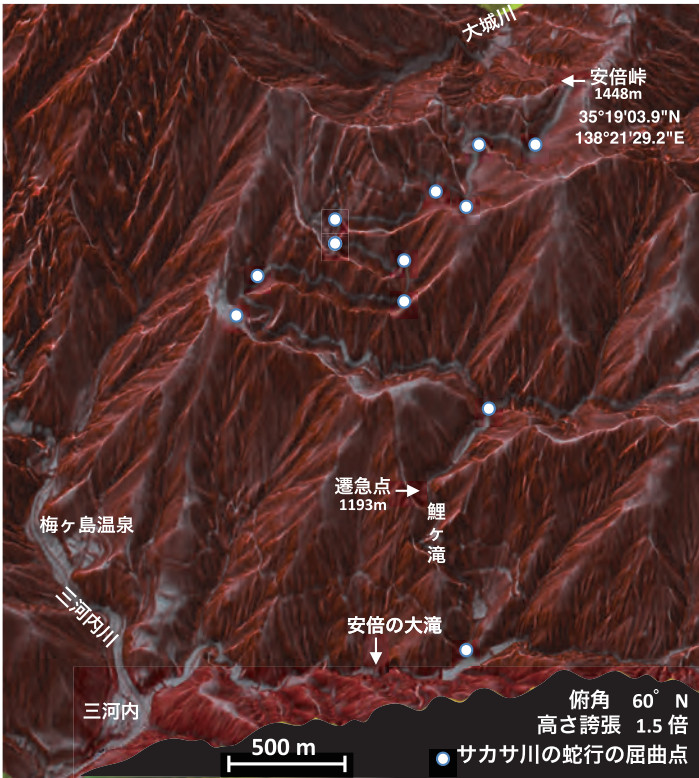


C044

サカサ川の異常蛇行と安倍峠の風隙地形(静岡県GEO
DATA(27)特集3 : 地学散歩(106))

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡県地学会 公開日: 2023-11-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 狩野, 謙一 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/0002000138

C044 サカサ川の異常蛇行と安倍峠の風隙地形



国土地理院 5m-mesh DEM を用いてSimpleDEMViewerで作成したSVRC地形鳥瞰図



最終屈曲点から安倍峠にかけても左写真のような比較的幅広い緩やかな谷地形を保持したままで、水流はなく、通常の河川の最上流部とは感じられない。峠の先は富士川支流の大城川が割り込んだ急峻な北向き山腹斜面に急変する。本来はさらに北側にあった安倍川源流部は、富士川側からの急速な浸食で削り取られて裁頭谷となり、安倍峠の風隙地形を形成したと考えられる。サカサ川流域と大城川流域の浸食速度の差が大きいことが示唆される。(狩野謙一)

安倍川は2000 mの山地から、ほぼ直線的に南流して駿河湾に注ぐ急流河川である。その上流部は西から大谷川、三河内川、サカサ川に分かれる。大谷川は周囲を日本三大崩壊地とされる大谷崩に囲まれた砂礫で覆われた幅広い谷底を持つ。三河内川はV字谷が集まった急峻な山岳地形を呈している。これらとは異なり、サカサ川は特異な形態をもつ。

安倍の大滝 (GEO DATA C032) の約500 m上流の最初の屈曲点から鯉ヶ滝 (恋仇) のサカサ川までは急流であるが、鯉ヶ滝の上流 (左図内の遷急点) から安倍峠までの河川勾配は緩く、徐々に高度を上げていく。この間はほぼ東西方向のやや長い流路と南北方向の短い流路が90°前後折れ曲がり、山腹斜面に作られたジグザグ状の登山道のようなものである。東西方向の流路では西流したり東流したりと反転する。この流路の屈曲と山地を作る南北の走向を持つ四万十帯瀬戸川層群との明瞭な関係は見出せない。このような山間部で、ジグザグに屈曲する蛇行の形成過程についての合理的な説明はなされていない。